

放課後等デイサービス自己評価表①						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	2		必要な指導訓練室等の広さの基準は満たしているが、活発な遊びをすると狭く感じることもある。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	3		配置数の基準は満たしているが、状況によって人手が足りないと感じることもある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	4	2	指定を受けた事業所が、既存の貸店舗のため、段差などのバリアフリー化がされていないところもあるが、改善できるよう検討中である。(オレンジティーンズ) 車いす用スロープや、障害者用トイレが整備されている(オレンジキッズ)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	2		ミーティング等で共有している。研修の機会も設けているが、積極的に頻度を増やしていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	7	2	評価表は活用していないが、定期的に保護者様との懇談会を開きご意見を伺い、業務改善につなげている。今後はアンケート結果を活かして業務改善に努めたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		5	6	3月より公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5	6	第三者評価の受審はまだない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	4	1	研修の機会は設けているが、パートを含めたすべての職員が今後積極的に研修に参加できるように改善を図っていく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	1		部署間で支援会議の場を設けながら情報を共有し、計画作成にフィードバックしている。
	10	子どもの適応行動の状況を知るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	4	2	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	3		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	2		ミーティング等の場で意見を出し合い、スタッフのアイデアをはじめ、子どもたちの意見も取り入れ、活動に幅を持たせるよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	10	1		育脳プログラムや、健康体操、音楽療法など、外部講師の指導で取り組む活動も計画しながら支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	11			
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	3		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	8	3		
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11				

		放課後等デイサービス自己評価表②				
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	8	1	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に其の子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11			
関係機関 や保護者 との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	1		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもと主治医等と連絡体制を整えているか	3	7	1	今後受け入れの体制を整えていけるように検討している。 服薬についての情報の共有や、てんかんの発作時の対応は医師の指示書を共有し支援に反映している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	6		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業者等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	5		必要に応じて、研修の機会を設け、助言を頂いている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	2	7	2	機会は少ないが、公園で活動する時など、交流する機会もある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		7	4	気仙沼市は開催頻度が少なく、参加できないときもある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	4	1	面談の他に連絡帳や送迎時に相談を受けた時に子どもへの対応の仕方などの助言を行っている。また、親子で参加する行事を通してその機会をつくっている。
保護者 への説明 責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	2		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	11			保護者会はないが、親子で参加できる行事を企画するなど交流の機会を作っている。

		放課後等デイサービス自己評価表③				
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2		
	35	個人情報に十分注意しているか	11			雇用契約の際に合わせて個人情報の守秘義務についての誓約書に署名してもらっている。また、法人の就業規則についても個人情報の守秘義務についての内容を明記している。個人情報に関する書類すべては書庫棚で保管し、施錠している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11			4月～10月まで毎月マルシェを開催し、地域との交流を行っている。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを作成し、職員や保護者に周知しているか	10		1	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	3		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	3		研修の機会の確保は勿論、そこで学んだことは、全体ミーティングの場で共有している。今後も、全ての職員への徹底を図るよう引き続きその機会をつくっていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	3		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	2	9		今現在、食物アレルギーがある利用児はいないが、医師の指示に基づいて支援ができるような体制は整えている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	9		随時、ミーティングの場で共有しているが、今後も全体に共有されるように積極的にその機会をつくっていく。